公民館報
こすど

発行所
小須戸町公民館
新潟縣中蒲原郡小須戸町
編集発行印刷人　矢部藤三郎

町教育委員会の發足

教育長に　岡田六太郎氏
正副委員長　高山朝日兩氏

小須戸町教育委員会は、十一月一日をもついよ〳〵発足した。即ち同日役場に全委員の招集を行い第一回小須戸町教育委員会を開催し、教育長に町助役岡田六太郎氏を任命、正副委員長互選の結果、委員長に高山市太郎氏、副委員長に朝日義惇氏を選出して次ぎの諸議案を愼重審議の上決定し、ここにめでたく小須戸町教育委員会が誕生した。

議決議案

一、教育委員会委員長及び副委員長選挙に関する件
二、小須戸町教育委員会々議規則
三、同教育委員会傍聴人規則
四、同教育委員会公告式規則
五、同教育委員会事務局組織規程
六、同教育委員会事務局委任規則
七、同教育委員会教育長及事務職員の任命に関する件
八、昭和廿七年度小須戸町歳入歳出一般会計既決教育予算承認の件

懇談会の開催

十一月廿四日更に懇談会を開催して次ぎの諸議題を懇談協議した。

一、新潟大学新卒業生の受入態勢の件
二、十一月廿八日開催の教育委員協議会出席代表者選定について
三、關係会議の常時代表者選定について
四、教育委員会の事務局内容の整備について
五、新保小学校舎の一部補強工事について
六、教育委員会予算について

報告事項

一、教育庁よりの引継内容について
二、学校関係打合わせ会の内容について

以上の諸件案を議決し更に今後町教育のため献身努力することを申合せたが、今後の新しい教育活動が大きな期待をかけられている。

表彰二題

町政功労者
村山吉五郎氏

多年町政の振興に町発展に盡瘁された偉大な功績に対しては深甚なる感謝の意を表し今回記念品を贈呈してこれを表彰した

町社会教育功労者
間野良知氏

公民館の草分けで終戦後文化協会の創立以來今日まで公民館主事として縣並に郡、町社会教育に貢献され、その事績は誠に顯著にして大なるものがあり、今回中蒲原郡公民館協議会ではこの功績をたゝえて、十一月三日文化の佳節をトして表彰した。

小須戸中学校長
坂井富三郎

先月初め、紅葉の麒麟山を後にして菊花薫る小須戸中学校へ参り、またはしなくも本公民館副館長に御推挙頂きました。学校教育、社会教育――小須戸縞の經緯織りなす彩糸の中に一糸加わる光栄に感激しております。

赴任偶成　三句

菊馨るこゝの跡目を継ぐ使命
じゆうたんの菊花の中に坐す思ひ
男女みな照葉に似たる面（おもて）かな

御あいさつ

小須戸警部補派出所長
警部補　**山岸関太郎**

過般の警察異動によりまして、小須戸警部補派出所長を命ぜられ十一月二十三日着任致したものであります。

御当地は警察史上に古い沿革を留められ、又警察界においても幾多俊秀輩出の地でありますので私如き菲才の重責に耐え得ざるを痛感されるのでありますが、幸いにも、町民各位は挙つて、質朴純情でいられますので、意を強くして治安維持の重責を果す覚悟であります。何うか町民各位の御支援を仰ぎ度く、紙上を借りて御挨拶申上げます。

新保小学校長
山口武夫

この度五泉小学校より新保小学校長に補職され着任いたしましたので、本紙上を御借りして町民各位に御あいさつ申し上げます。

由來小須戸町は教育に熱心な処であり、特に社会教育に於て定評がございます。かゝる教育熱心な地域社会をもつ学校はしあわせであります。私は菲才淺学でございますがこのよき環境に育つ学校の長として赴任した以上全力を盡くしてその職責を果したいと存じます。

今后の皆さまの御援助を御願いして御あいさつといたします。

小須戸校の譽れ
縣下席書大会に優勝。

去月廿六日新潟市中央高校で開催された縣下学生席書大会に於て小須戸小学校は次のような優秀な成績をおさめ、綜合点数では縣下各校を断然圧倒して優勝、名誉ある優勝楯を獲得した。

市長賞	三年	藤井昇一
毎日賞	六年	栄森靖生
四等	二年	会田知子
〃	五年	佐藤仁
五等	二年	吉田忠弘
〃	三年	藤田芳子
〃	六年	藤田悠二
六等	四年	浅見敬三
七等	五年	森田紀一
〃	三年	岡義弘
八等	四年	中村泰子
九等	三年	佐藤八重子
小須戸中学校		
二等	一年	大塚昭子
七等	三年	佐藤勇
十等	一年	石井淳子
十三等	一年	高橋レン

歓送迎
榮転者

◇転出の部

柏崎市署	西山信一郎
新津一中	旭了雄
寺泊小	間清太郎
庄瀬中	田中耕作
庄瀬小	田中キクノ
小須戸中	渡辺侃二郎

◇轉入の部

小須戸署	山岸関太郎
小須戸中	坂井富三郎
小須戸小	本木七郎
新保小	山口武夫
小須戸中	山口ムツ

第七回
文化祭を省みて

堀野釣人

文化祭も今年で第七回と歳を重ね、その上独立公民館最初の催しでもあつたので、充分の反省がなされなければならぬと思う。

先ず今年の中心目標であつた生活改善の面から考えてみよう。なるほどこれまでの文化祭は余りにも寄せ集め主義で重点が全然なかつたのに対して、このように重点を設けたのは一つの進歩であつた。だがこれにちなんだ多くの出品物が有効に観覧者の眼に強く映じ、また胸の中に激しく食い入つたであろうか。いや、最初の当事者の意気たるや実に壮たりといえども、足は地につかず、折角の陳列品もその価値を半減以下にさせられていたといえる。もし、一部屋に少なくとも一人の説明者が居て観る人の質問に答え、その品物についての紹介やら説明などをひきうけていたならば、いかほど実物教育がなされたことかと、かえす〴〵も残念である。これも実際のところ役員の手不足ということになるのだろうが、毎年会場の担当者の顔振れを見ればすぐに感ぜられるのは、いつも同一人物が同一部門を受け持つているということだ。この町にはそのように人が沸底しているのであろうか。極端にいえば若い人達の中に町のために自分の力を幾分なりと提供しようとする氣分が全然ないのであろうか。もしそうでないとするならば、余りにも中堅者がガッチリしすぎて、新進の入り込む余地を与えないのか。なんにしても後継者が必要だ。

年々新しい人達が参加し形式はそう〳〵変えずとも、内容が常に新鮮な文化祭を計画して今後の町の発展に資してもらいたいものだ。少数の者のみが多くの責任を負担すればそれだけ手が廻りかねるのは分り切つたことだ。各部門とも今後はぜひとも後継者、新人の発見奨成に心を用うるべきでないであろうか。

文化祭の第一日、二日の日にはたして幾部屋が整備されていたであろうか。時間になつても陳列品の飾り付けの終つてないところは実に多かつた。名前だけは〇〇クラブの部屋、△△会の部屋となつていながら、まるで個人の部屋の如く、誰も手傳う者とてない状態。また文化祭の終つた後始末も同じこと。これでは、町の文化祭ではなくして有志の文化祭というべきだ。

内容の点から見ても、毎年同様なもののみではなかろうか。他の町村の文化祭なども広く見聞し井の中の蛙とならぬようにしたいものである。殊に今年あたりは「一年文化祭を休んで他のものを見ては―。」というような意見も当局者の間に出たときいているが、年中行事の一つとして行うことには意義を認めるとしても、ただ並べたてるだけではなくて、それの出來るまでの苦心努力がわかるよう、またそれによつて知らず〳〵の中に眼が開かれ、知識が得られ、考えさせられるように持つては行けないであろうか。成人講座等が定期的に開かれていない現状ではかゝる機会こそ実に恵まれた成人講座の場ではあるまいか。

次に文化祭に対する考え方にも関係するのであるが、文化祭を機会に一つ儲けてやろうというような気分はできるだけなくしたいものだ。せめて一年の中、一度位は損得を忘れ、ゆつたりとした心持で全町が楽しみたいものだと思う。人が多く出る日だから、―というわけで、この日こそは他人に先がけ儲けようという考えをはなれ、多くの人々の為に気持よくお互いにサービスし合う心を持ちたいものだ。無理にでも買つてもらおう。売らんかなの態度は誠に不快の念を抱かせることになろう。農家も天候の都合で致し方ないということもあろうが、できるなら仕事の手廻しをよくして二日の間に一家全部が会場を通り見た後でいろ〳〵と批評したりお互いに話題を出し合つて、一家の事を反省して見るというようなことができないであろうか。文化祭が単に当局者だけの反省に終つてはならないと思う。全町民が町の動きに対して關心をもつことが町の文化の向上の為に最も必要なことと考える。

今年の反省から來年の計画が生まれ、その年の成果が実る。文化祭を一つのポイントとして次の一年の歩みが定まり、それに向つて努力精進したものが次の文化祭に綜合発表されるというようには行かないものであろうか。このようになれば、自から立派な作品も現われ、内容も充実して來るであろう。しかし現在のまゝで行くとすれば、益々内容も貧弱になると考える。

特に独立公民館が出來新しく専任の主事、書記がおかれたとはいえ、たゞこれらの人達のみに頼つて、かゝる大行事を任せ切つてよいものだろうか。もちろん、専任の人達は細かい点は過去の記録等に徴して万遺憾のないように注意すべきではあろうが、余り頼りにならないと見なければならない。

新保分館だより

●分館長の更迭

新保小学校長田中耕作氏は、新保分館長として五年七ヶ月、分館活動に特に青年学級の発展に、又視聴覚部の企劃部長と幾多の功績を残して庄瀬中学校長に御栄転され、後任分館長として五泉小学校より山口校長先生をお迎いしました。

御寄贈御礼

視聴覚委員会発足以來各方面から多大な御支援御協力をいたゞきましたが、今回更に幻灯振興激励のため次ぎの御寄与がありました。厚く御礼申上げます。

一浪曲スライド一巻　西幸町　羽入商店殿
一浪曲レコード四枚　二番町　田中四郎殿

文化祭
御寄贈御礼

文化祭に際し賞品たくさんいたゞき厚く御礼申上げます。

横川	小柳商店殿
二ノ町	須藤書店殿
三ノ町	栄森商店殿
横町	藤田紙店殿
中学角	村山商店殿
四ノ町	木村茶店殿
〃	小林商店殿
二ノ町	藤田紙店殿

肉
牛　豚
たまき
神明町　電2番

納税貯蓄組合を
設立しましよう

納税は国民会費であり、また縣民、町民会費でありますことは皆様御承知の通りであります。だが現在の状勢から致しまして一度に多額の金銭を納税致しますことは、大変苦痛の事と思われます。一度は必ず納税しなければなりません。どうしたら皆様が一番たやすく納税ができて、その苦痛を幾分でも和らげ氣樂に納税出來るように定められたのが納税貯蓄組合法であります。次に町民税、固定資産税、自転車税、保険税を合計致しまして一ケ年の税額が一万一千円の人を一例にあげまして、月々の貯金並びに納税を表わしますと次の表の様になります。

納税貯蓄組合員の方の預金につきましては、預金通帳は組合員各人毎の預金通帳になつて居りますので、預金利子並びに納期に納税されました税金に対する三%の奨励金も、納税組合員各人の預金通帳に繰り入れられます。

職場でも各町内でも各業種別何れでも結構ですから皆様御相談の上極力納税貯蓄組合を設立して下さい。

細部の事につきましては役場の税務課で御説明致します。

納税貯蓄組合に対する取扱手数料として一戸当り〇〇円又納税貯蓄組合に対する手当として多少なりともお上げ致したいと存じます。

町民皆様の御協力をお願い致します。

例　1年間に　町民税　5.000円　1期毎に1.250円づつ4期迄
固定資産税　4.000円　1期毎に1.000円づつ4期迄
を納税する人の場合
自転車税　200円　1期分のみ
保険税　1.800円　1期毎に300円づつ6期迄

月	預金額	計	拂出額及び拂出税目		残額
1	920円	920円			920円
2	920	1.840			1.840
3	920	2.760			2.760
4	920	3.680	194円 970 291	自轉車税 固定資産税 1期 国民保険税 1期	2.225
5	920	4.600			3.145
6	920	5.520	1.213 291	町民税 1期 国民保険税 2期	2.561
7	920	6.440	970	固定資産税 2期	2.511
8	920	7.360	1.213 291	町民税 2期 国民保険税 3期	1.927
9	920	8.280			2.847
10	920	9.200	1.213 291	町民税 3期 國民保険税 4期	2.263
11	920	10.120			3.183
12	920	11.040	970 291	固定資産税 3期 国民保険税 5期	2.842
1			1.213	町民税 4期	1.629
2			970 291	固定資産税 4期 国民保険税 6期	368
計	11.040	11.040	10.672		368

本表は毎月、月始め（二十日以内）に集金し月末に納税した場合の計算である

拂出額は税額より三%の奨励金を差引いて納金する

残額の三六八円が一年間の奨励金（三%）として残金となる。この外預金利子があるから残高は増額となる

翌年の一月及び二月の預金額は新年度分を考慮して予め金額を定める

童心が描く町つくり

商店街に何を望むか

――中学校商業コース二三年生――

子供ながらも自分達の町の発展や繁栄を希わぬものは一人もあるまい。これは中学校商業コース二、三年の学生が松本道先生の指導のもとにいろ〳〵の商業科目について研究しているが、次ぎはいつわりのない純真なその叫びを録音したものでこんな子供の声がもし商店街の繁栄の一助にもなったらと思ってここに掲載した。

●商店街に何を望むか　指導担当　松本道

○誰にでも気持よく応待してもらいたい　二一
○客の入り易いようシキイをとる　二〇
◎**菓子や食料品を手づかみにしないこと**　一八
○天窓や電灯を工夫して店を明るく　一五
○商品が見えるよう陳列台などの工夫　一二
○他の町に比べて少し値段が高い　九
○道路を拡げてアスファルトにしたら　九
○商品の種類が少い　八
○ゴミ函を店頭に置かないよう　五
○客を待たさぬよう店番がいること　五
○ガン木を揃えたらどうだろう　五
◎**店を余りキレイにすると入りにくい**　五
○晴天には撒水してもらいたい　四
◎**十圓のお客を粗末にしないよう**　四
○優良商品が少くない　三
◎**正札制實行**　三
○ショウウインドウを設けよ　二
○下水にフタをしてもらいたい　二
○食料品で新鮮なものが少くない　二

年末だ!! 戸締りしつかり火の用心

昭和二十七年もあと僅か三十日となつた。街の足音も何んとなく忙しさ、あわただしさを感じさせる。各家庭でも年末、年始の支度に追われ勝ちでどこか思わぬ抜け間ができ易い。その際に乘じていろ〳〵の犯罪が行われてとんだ不幸を見ることがある。警察でも毎年のことではあるが充分の警戒と注意におこたりないが、各家庭でもこれに呼応して戸締りや火の用心を厳重にして、防犯に協力せねばならない。

戸締りしつかり

――空巣ねらい　コソ泥に注意――

寝る前に必ず土蔵、物置の錠前や出入口の戸締りを厳重に今一度見廻ること。

外出には留守居をおいて空家にせぬこと。止むを得ない時は厳重に戸締りをすること。

あなたの外出を常にコソ泥はねらっている。

火の用心

――コタツ、火消壺　取り灰に注意――

コタツには必ず網をかけること。

細ヒモやオシメの落ちていることを知らずにいて大事になつたこともある。

消壺は土間に置いてフタを厳重にすること。

藁灰やモミヌカ灰は一週間もたつてから発火した例も度々あるので、温みが無くなつてから他に移すようにすること。

万一大事を引き起しては、この寒空に居場所もなくなるのだからお互によく注意いたしましょう。

中蒲産業振興共進会 入賞者

――当町関係分――

去月廿二三四日の三日間五泉町に開催された中蒲原郡産業振興共進会に町から次ぎの諸氏が入賞された。

一等賞	小豆	川瀬養郎
	眞柏	五十嵐若吉
	黄梅	渡辺平七
二等賞	玄米	丸山晃一
	〃	吉井正平
	落葉松	五十嵐若吉
三等賞	里芋	高野喜一郎
	楓	渡辺平七
	杜松	全　人
	えぞ松	五十嵐若吉

自作スライド

生活改善 七坪夫人 入賞

去月廿七日県教育委員会主催自作スライドコンクールに、小須戸公民館から出品した生活改善七坪夫人が四等に入賞した。これは生活改善の一環として去る文化祭に映写すべく加藤国一郎、岡元京一両氏の苦心の作であつて新潟地区予選では七等に入選し、豫選をやつと通過したもので、県大会において思いもうけぬ四等入選は両氏の苦労が報えられ、賞状と写真用せん光器一式が賞品として授与された。十二月プロに編入して各町内部落を巡回の予定である。

北陸学徒競書大会に 小須戸校大量入賞

第二回北陸学徒競書大会は新潟大学主催で去月一日白根中学校で行われたが、小須戸小学校から次ぎの諸君が入賞した。

入賞者　小須戸小学校

金賞	四年	中村泰子
〃	〃	石附昭子
〃	五年	大倉孝治
〃	〃	大塚小夜子
〃	〃	佐藤仁
〃	〃	五十田知子
〃	六年	浅見幸子
〃	〃	吉田恵子
〃	〃	岡本隆子
〃	〃	中村則夫
〃	〃	岡壽一
銀賞	四年	浅見敬三
〃	五年	石井力
〃	〃	吉岡利昭
〃	六年	森内紀一
〃	〃	森内伸生
〃	〃	栄森靖生
〃	〃	八木章次
〃	〃	会田修
〃	〃	青木善明
〃	〃	金沢公昭
銅賞	四年	吉崎勝利
〃	六年	花沢ノブ子
〃	〃	佐藤節子
〃	〃	風間奈知子
入選	四年	青木英明
〃	五年	五十嵐浩子
〃	〃	保科俊輔
〃	〃	高橋悦子
〃	〃	伊藤ヒデ
〃	〃	田中良一
〃	〃	五十嵐洋子
〃	〃	岡田洋子
〃	〃	小島公子
〃	六年	市川京子
〃	〃	渡辺せい

入選　六年　藤田悠二
参加賞　四年　笠原祐志雄

文化祭 一等入賞者

●農産物

米	一等賞	丸山晃一
大豆	〃	横山ハツノ
柿	〃	高山秀雄
甘藷	〃	上田一男
里芋	〃	吉田芳枝
白菜	〃	広川嘉一郎
牛蒡	〃	野崎治作
苗木	〃	佐藤信壽
柿	〃	石本吉平

●スポーツ

卓球部	個人一等	山口文吉
	団体〃	四ノ丁組
籠球部	個人敢斗賞	田中三郎
	〃　〃	高山金次郎
	団体一等	中学生組
野球部	職場一等	田中チーム
	少年〃	小須戸校
庭球部	町民一等	荒海佐藤組
	中学一等	

●一般、学童

町長賞	横水校	小柳澄子
	新保校	古田和夫
	矢代田校	穴沢スミ子
	小須戸校	吉田忠弘
	小須戸中	佐藤　勇
	定校	笹川昭三
	彫刻	加藤由太郎
	米	丸山晃一
一等賞	菊花	吉沢勇藏
	〃	馬場直衛
	楓	渡辺平七
	額画	三ノ町佐藤勇

裁縫箱		五十嵐浩子
画	定校	坂井得英
洋裁	全	野崎敏子
彫刻	全	中野喜一
画	横水校	吉田光藏
書		武田順子
工作		佐藤君代
画	新保校	古田和夫
書		石本まち子
工作		田中和子
画	矢代田校	兒玉キミ子
〃		昆田継雄
書		村山則夫
〃		佐藤　勉
工作		保科三太郎
〃		田沢輝男
画	小須戸校	和泉武郎
〃		小日向悦子
〃		保科一衛
書		森内紀一
〃		浅見敬三
〃		阿部治範
工作		阿達勝子
〃		神林正行
〃		熊木靖子
画	中学校	川瀬藤五
〃		井上スミヱ
〃		加藤ノリ子
書		高橋レン
〃		笠原えり子
〃		板井武子
工作		阿達輝雄
手芸		保科ミリ
〃		大塚昭子

年賀状 もらつて出すより もらわぬ先に

受付十五日より廿八日まで
元日に配達出來るように早めに
――小須戸局――

土壌検定とその成果

水田土壌を化学的に判定するには色々の成分を分折する必要があるが、中でも活性の鉄分と有効加里分は土地の生産力と関係が深いので最も重要とする。そこで昨年より今年に亘つて小須戸の水田土壌約八〇点依頼により検定した結果有効加里分は左記の通り成績が出た。

結果	検定数	同上割合
極不足	四〇	約五〇%
少い	三二	〃四一〃
中等	四	〃五〃
稍多い	三	〃四〃
計	七九	一〇〇%

何故に水田土壌の場合加里の検定が水田良否と関係が深いかと云うと加里が欠乏している様な水田は色々の物が流亡し易い性質を持つた水田で一つの顕れとして検定した場合有効加里が極不足乃至少いのは恐ろしく此の様な土壌ではアンモニア態窒素も加里と同様に流亡してしまうのではあるまいか。要するに「肥料成分が流亡するかしないかを加里を指票に使つて見ているに過ぎない」加里が無い水田では各種肥料成分が流れ易く夏頃になると肥切れがして秋落する。この検定結果をみても加里不足の処が、相当あるのが目立つ、そしてこの不足は殊に秋落田や湿田に多く又堆肥の質及び施用量が不充分な処は少い。塩化加里硫酸加里を多く使つている水田でも土そのものゝ性質が悪ければ成分が流亡するから検定はよくない結果が出る。更に硫安を施用した場合加里の溶脱が多い事が実証されるが之は硫安のアンモニアは土に吸着されている加里を追出し追出された加里が水と共に地下水に流されるからであろう。戦後硫安が増産されその使用量が増せば加里の溶脱が増加するものと考えねばならず加里の補給に大きな役割を果して來た堆肥が減産の傾向にある今日、水田の加里欠乏は益々促進されるものと考えてよかろう。活性の鉄分は不足のものがなかつたので略したい。近年土地改良が進みつゝある本地帯の水田に於てそれと併行に土それ自体を良くする所謂土を肥やす方法が実行されなければ多額の費用を要する土地改良の存在が小さくなり今後数ヶ年以降は場所により土地の単位生産力の減退かみうけられると思う。私は全般的にみて現在の水田土壌は或程度の高位生産力を挙げ得る素質は充分備えていると信ずる。唯経営者として又將來の経営者たる若い青年も今後耕土培養を實験に且つ早急に実行するか否かによつて活かすも殺すもできるのではないかと常々考えている。然しそれは仲々容易な事でない。苦しい農村の経済の中では目前の事ばかりで一杯であるかも知れないが、將來経営の基盤たる耕地のことを考えると果してこのことを忘れてよいであろうか。

改良普及事務所　松井

文化祭俳句会

秋は逝くみどり児を背負し温み　まつし
落葉にザザと降り來ては月夜　狼影子
もず高音木洩れ陽移りやすく冬　越楼
夜も猛る噴水の音のさびしけれ　喜代治
秋逝きて侘びしく綴る農記帳　石秋
朝の客ありて日曜秋さくら　山葵
白蝶の真晝をとんでゆく秋や　流水

◎入賞　1越楼　喜代治　2石秋　3狼影子

ガス使用 組合発足

生活改善の一つとして今回小須戸町ガス使用組合が設立した、新潟軽金属会社と特約して豊富に供給されるものでボンベー(容器)貸付等の関係で第一回は五十名を限度に加入者を募集中で、現在三十名が加入使用している。

所要経費は

メーター代	四〇〇〇円
コンロ代	四〇〇〇円
ガス代金 四〇立方	二七〇〇円

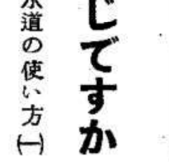
自治振興辨論大會

時　12月21日　10時より
所　小須戸小学校
共催　中蒲原郡自治振興協議会
中蒲原郡連合青年團

家庭欄

御存じですか

上手な水道の使い方㈠



栓を廻せばいくらでも出る水道の水、之は便利といくらでも使い流してよいものか、否、水道は使用する人員に応じて設備されているもので、小須戸町では一人一日四立方尺と聞いて居ります。いくら使つても百円だからと無駄に使い流す人々が多いと、きつとどこかに無理が出來ているのです。節約と云つてもいるものはいるに違いないのですが、先づ私達に出來る節約はお手の物の洗濯の濯ぎ方の工夫等その一つでしょうか。例えば最初の濯ぎ水に灰水を少量加えて濯げば一回位濯ぎの回数を減せましょう。又五枚のシャツを濯ぐ時五枚一度に濯ぎ水に入れてしまわず、一枚宛濯ぎ二回目も同順で濯ぐようにすれば水は少くて済み、私達の労力も節約され、洗濯も赤樂しとなりそうです。万一水は無盡としても無駄に使われた水は可哀そうです。

普通家庭では十日から十二三日位使用できるとのことである。

申込所　公民館へ

目かくし達留摩の入賞

小須戸郵便局

一等　鈴木康夫　高山衛士
牧野靜子　大倉孝
治　丸山盛一　磐田文衛　横
山眞都栄　高井勝　新井田
辰夫　新井田貞夫　武田寛
二等　梅津久衛　久保保男
森内伸生　牧野正男　坂井
石平　佐藤富一　斉藤のり

幻灯慰問行 新潟刑務所へ

視聴覚教育委員会では去る文化祭に協力出品された新潟刑務所に対し御礼と囚人慰問をかねて三十日同所を訪問して演芸場で幻灯会を催した。壽々木米若の佐渡情話、菊地寛原作父帰る等数巻を上映して大変に喜ばれた。今後引き続き慰問を行う予定である。

お断り

一面御あいさつの処に小須戸校長本木七郎氏病気未着につき次号に掲載

小須戸町合唱團
団員募集
1月上旬NHKから放送予定
初心者も歓迎
会費　毎月　20円
練習　毎金曜日夜　中学校で
申込所　公民館　中学校

出生 死亡

十月廿七日より十一月廿六日まで

出生

小須戸	加藤宣夫
〃	五十嵐力
〃	藤井由起子
〃	深沢弘子
〃	田中キヨヱ
〃	川瀬直人
〃	菅井隆
〃	荒木芳夫
竜玄	高橋玲子
〃	清水雅志
水田	木村ノブ
矢代田	須田富久子
天ヶ沢	城丸正二
〃	伊藤俊一
鎌倉	板谷俊弘
朝日	阿部マリ子
金津	五十嵐幸子
味方	高橋昌子
白根	星野則子
臼井	斉藤昌之
	藤田秀子
横田	広瀬久
田上	小菅法夫
西頸城	吉田洋
東京都	清水和子
〃	高橋文子
石川県	新村悦子
秋田縣	川口四

死亡

小須戸	徳永ヨセ
〃	石田ミセ
〃	佐藤アキ
〃	茬原新吾
〃	久保留三郎
〃	風間タミ
〃	大場ナミ
〃	須藤治八
小向	会田テルヨ
矢代田	木伏ヨシ
〃	新井田芳一
横川	長沢明
鎌倉	渡辺虎平
〃	西村フジ
天ヶ沢	城丸藤平
白根	谷川セイ

ゴム　靴
名前のように絶対責任付
各種色・型　いろいろ取揃え
新町　中村洋品店

ナショナル
ラヂオ　電気具
化粧品　食料品
浜屋
二番町　電112

ヒドリ号
無期限保証付
總ベアリング防水装置
坂井輪店
電170

ゴム長各種
品質保証
秋山のゴム
特約店
横川の下駄屋